

“MONOの附”企業 [中部]

もの の ぶ

中部地方で附加価値の高いMONO(商品・サービスなど)を提供する企業を紹介いたします

テクノエクスプレス(株)

<40-135960-3>

名古屋市中区

燃料電池はじめ環境対応事業の開拓に本腰!

「人のイマジネーションがエネルギー。新技術を青空に」ーシステム機器保守のテクノエクスプレス(株)(名古屋市中区)が、燃料電池はじめ環境対応事業の開拓に本腰を入れてきた。シンガポール・ホライゾン社と提携し、クリーンエネルギー教育用資材や、燃料電池システム、さらに水を科学反応促進剤に使った携帯発電機の本格販売を開始した。現在は1割に充たない環境事業売上げを5割にまで引き上げたい考えである。

§ 技術者の開発の芽は子どもの好奇心に似る §

かつて制御、電子機器部品メーカーの技術統括者として、当時としては最先端技術だった自動改札機の開発に関わった。岩にぶつかって川面をスムーズに流れる木の葉をヒントに、ラッシュ時の切符を高速処理する、あのTVドキュメント番組にもなった改札機だ。

技術者の“開発の芽”というのは、無邪気な子どもの心に似たものがある。摘んでも摘んでもどこからか探究心が芽吹いてくる。保守事業を続けるかたわら、燃料電池で動く電動ロボット、電動ゴーカートをもつくれた。実質的な環境事業開発の始まりだった。

キャッチコピーのひとつとなっている「新術を青空に」は、まさしく環境対応のイメージ。「チリやほこりで汚れた空は赤っぽい。綺麗な空気だからこそ青空になる」(南出英男社長)とす

るものだ。

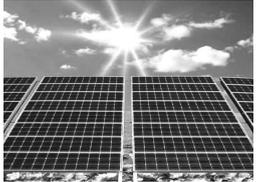
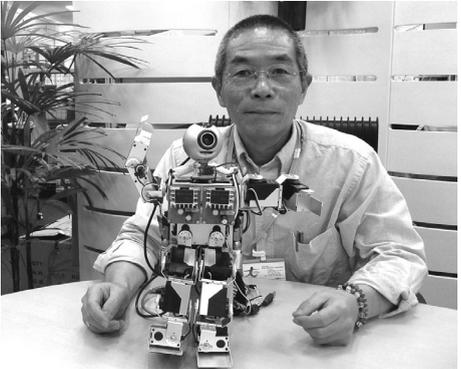
教育用クリーンエネルギー・キットを高校や工業大学に納入する。未来のクリーン産業を育てるのはやはり教育。風力発電、ソーラー、燃料電池…、イメージを育むには“実像”があった方がいい。

§ 水を入れるだけのコンパクト電池に人気 §

水を入れるだけで発電する「ハイドロパック」は。燃料電池とエネルギー貯蔵技術を融合した。総重量3キロ、ACなら100Vはむろん、220Vも可能。ジャングル取材のメディアからも問い合わせがあった。

いま、前面に押し出すのはやはりポリマー電解膜(PEM)の燃料電池。「エネルギー交換効率がいいのが有望視される理由」。空冷、自動湿度調整、コンパクト、軽量。セルの積み上げで発電能力も、出力ものばせる。

地球環境対応の要請の高まりで、燃料電池など脱CO₂エネルギーに関心



水を科学反応材に発電するハイドロパック

太陽光発電もこれからの事業の軸

住 所：〒460-0022 名古屋市中区金山1-14-18(金山センタープレイス5F)
電 話：052-331-4701
F A X：052-331-4470
U R L：http://www.xpress.co.jp
E - M a i l：info@xpress.co.jp

希望取引先 燃料電池の採用を考えている法人、個人